

常願寺川水系河川整備計画 用語解説

1. 天井川（てんじょうがわ） p5 上から 20 行目

河床がそのまわりの土地よりも高くなった河川。

2. 河床（かしょう） p5 上から 22 行目

河川において流水に接する川底の部分を河床と呼びます。

3. 勾配（こうばい） p5 上から 22 行目

護岸や堤防などの斜面の部分の勾配（傾斜、傾き）です。直角三角形の鉛直高さを 1 としたときの水平距離が n の場合、 $1 : n$ と表示します。たとえば $1 : 2$ は 2 割勾配、 $1 : 0.5$ は、5 分勾配というように、特殊な言い方をします。ちなみに、2 割勾配は 5 分勾配よりも緩やかです。

4. 亜高山帯（あこうざんたい） p8 上から 5 行目

植物の垂直分布帯の一。低山帯と高山帯の間。本州中部では海拔 1500～2500 メートルぐらい。主に、トウヒ・シラビソ・コメツガなどの高木の針葉樹が生育する

5. 森林限界（しんりんげんかい） p8 上から 7 行目

高緯度地方や高山において、森林が成育しうる限界線。本州中部の高山では 2500 メートル付近、水平分布では北緯六〇～七〇度付近である。

6. 二次林（にじりん） p8 上から 10 行目

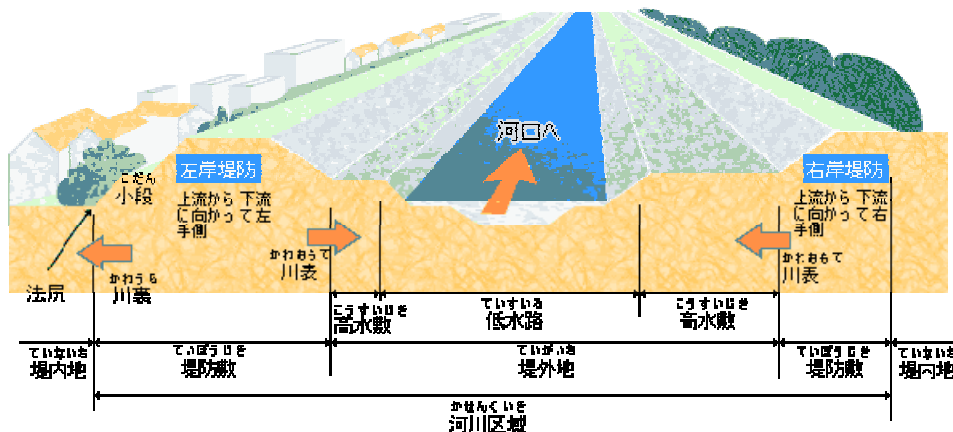
伐採や風水害などにより森林が破壊された跡に、土中に残った種子や植物体の生長などにより成立した森林のことです。

7. 溶結凝灰岩（ようけつぎょうかいがん） p10 上から 7 行目

高温の火山灰が大量に厚く積もり、その内部で再融・圧密されて生じた岩石。爆発的な火山活動に伴って発生した大規模な火砕流の堆積物中にみられる。しばしば粗い柱状節理を呈する。

8. 河道（かどう） p17 上から 16 行目

平常時もしくは洪水時に流水が流下する区間のことです。類似する用語に「河川」がありますが、河川とは、河道及び堤防によって洪水氾濫から守られている住居や農地のある側（堤内地）を含む河道周辺を意味します。



9. 水制（すいせい） p19 上から 9 行目

河川の水による侵食等から川岸や堤防を守るために、水の流れる方向を変えたり、水の勢いを弱くすることを目的として設けられた施設です。形状は様々なものがあります。

10. 高水敷（こうすいじき） p19 上から 15 行目

高水敷は、複断面の形をした河川で、常に水が流れる低水路より一段高い部分の敷地です。平常時にはグラウンドや公園など様々な形で利用されていますが、大きな洪水の時には水に浸かってしまいます。

11. えん堤（えんてい） p20 表 3-1 の下

貯水・治水・砂防などの目的で、河川・溪谷を横断してつくられる堤防。ダム。

12. 河道閉塞（かどうへいそく） p21 上から 14 行目

地震や火山噴火、豪雨などによって、河川が堰(せ)き止められる現象。また、その地形。河川の周辺地域が水没するほか、決壊による二次災害も発生する。

13. ハザードマップ p24 上から 12 行目

浸水被害などの発生が予想される危険区域・避難場所等を示した地図のことです。

14. 洗掘（せんくつ） p30 上から 4 行目

流水によって、堤防や低水護岸の前面の河床や河岸部、あるいは堤防の法面等が掘られたり崩されたりする現象のことです。

15. 霞堤（かすみてい） p32 上から 2 行目

堤防のある区間に開口部を設け、その下流部の堤防を堤内地側に伸ばし、上流の堤防と二重になるようにした堤防です。平常時には堤内地からの排水が簡単にでき、又上流で堤内地に氾濫した水を開口部よりすみやかに戻し、被害の拡大を防ぎます。

16. 二線堤（にせんてい） p32 上から 10 行目

万一本堤が破損した場合、これ以上の洪水の氾濫を防ぐために、堤内地に築造される堤防です。

17. 慣行水利（かんこうすいり） p35 上から 7 行目

旧河川法の制定前あるいは河川法指定前から、長期に渡り継続、かつ反復して水を利用してきたという事実があって、その排他的支配が社会通念によって承認されて権利化したものをいいます。主にかんがい用水ですが、飲水使用等もあります。

18. 汽水（きすい） p43 上から 14 行目

海水と淡水とが混じり合っている塩分濃度の低い水。汽水湖・河口などの水。

19. 抽水植物（ちゅうすいしょくぶつ） p44 上から 6 行目

根は水底の土壌に固着するが、葉や茎の一部は水面から出て生育する植物。アシ・コウホネ・ガマなど。挺水(ていすい)植物。水沢植物。

20. 帰化植物（きかしょくぶつ） p47 上から 4 行目

本来の自生地から人間の媒介などによって他の地域へ運ばれ、野生化した植物。日本へ帰化したものにはマツヨイグサ・ハルジオン・アレチノギク・ブタクサなどがある。